

○事業所名	こどもひろばeポーポー		
○保護者評価実施期間	令和6年11月6日		～ 令和6年11月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23名	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	令和6年11月6日		～ 令和6年11月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年12月23日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動への取り組みの際、全員で取り組んでいくことで、社会性を身につけ、人間関係の形成、コミュニケーション能力向上が行えるよう取り組んでいる。	毎月の活動を利用者と一緒を考える工夫をしたことで以前より活動に取り組む際の本人意欲が向上した。 全員が参加する事により、苦手な活動にもチャレンジできている。	新しい活動内容を利用者と一緒で考え、その活動に対する感想を振り返り、次の活動に繋げていく。
2	自立に向け、基本的な生活スキルを獲得できるよう、身の周りのことは自分でやっていくよう習慣化することで本人自身が意識し取り組めるようスモールステップで取り組む。	活動時間を事前に伝える事で、時計を見て行動できるよう習慣づけている。 私物や玩具の片付けなど視覚支援を使用し分かりやすくしている。	社会的自立を養える様、長期休みを利用し、公共交通機関を用いた活動を行い経験の幅を広げていく。
3	すらら学習や課題に取り組む事で学習の振り返りを行い本人の強みや弱みを自身で理解することで苦手意識をなくし、学習意欲の向上、集中力の向上を養う。	プリント等で繰り返し行い、保護者に分かりやすく進捗状況を伝える工夫を行っている。 パーテーション等使用し、集中できる環境をつくっている。	個別スペースを活用し、更に集中できる環境を整えている。 分からない課題等に対し従業者に聞きやすい、環境を整えている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	従業者の基本的業務や利用者の特性への理解や知識のスキルアップが必要である。	利用者状況の把握、関わり方等、従業者と連携、情報共有を行い理解を深め支援に努めていく。	研修等を行い、より障害への特性などの理解を深め、利用者への対応をより良いものとなるよう努める。
2	活動の内容を幅広く提供できるようにしていく。	他事業所の活動内容を取り入れる、SNS等で新しい活動を探索し行ってみるなど視野を広げ活動を提供する。	同じ活動でも個々に合わせられる事、できない事を把握し、できる限り同じ活動と一緒に出来るよう工夫し取り組んでいる。季節の創作活動では、みんなで協力し1つの作品を作るなど他者と関わりながら行うようにしている。
3	1人1人の特性に合わせた活動内容やより専門的な療育を強化していく。	個別療育や専門的支援など、スムーズに行えない部分や切り替えが困難な部分がある。	分かりやすいように視覚支援の取り込み、事前に本人と確認し本人が興味ある事や、意欲が向上し取り組みたいとおもえる活動の取り組みの強化を検討していく必要がある。